

6・4 貨物の積付けおよび安全輸送

6・4・1 石炭輸送の安全対策

平成 16(2004)年 5 月の IMO 第 78 回海上安全委員会(MSC78)において、固体ばら積み貨物に関する安全実施規則(BC コード)を強制化することが合意され、強制化に向けた同コードの全面的な見直しが行われてきた。平成 20(2008)年 9 月の第 13 回危険物・固体貨物・コンテナ小委員会(DSC13)において同コード改訂案は最終化され、名称を「国際海上固体ばら積み貨物規則」(International Maritime Solid Bulk Cargoes (IMSBC) Code)と変更した上で、平成 23(2011)年 1 月 1 日に発効する予定である。

しかしながら、IMSBC コードには、石炭の積み付けに関して「船長は、石炭が高温の場所に隣接して積み付けられることのないようにすること」との隔離要件があるものの、「高温の場所」(hot areas)の定義が不明確なため、このまま強制化となった場合、PSC において、寄港国の判断によっては指摘を受ける恐れがあった。このため、平成 20(2008)年 9 月の DSC14 において、わが国より“hot areas”の解釈案を含む石炭安全輸送に関する提案を行った。

審議の結果、日本提案をベースに、「高温場所」を、「貨物艙に接している継続的に 55° C よりも高温となる場所(加熱された燃料油セットリングタンクやサービスタンクが貨物艙と接する場合など)」とする統一解釈案が策定された。

また、加熱された燃料油タンクについては、「燃料油の温度が、原則として 55° C 未滿となるよう管理されており、燃料油の温度が 24 時間中 12 時間以上 55° C を超えることがなく、かつ、最高温度が 65° C を超えない場合は、一般に、高温場所と看做すべきではない」との解釈が加えられた。

6・4・2 危険物の運送

個品危険物の海上輸送については、国際海上危険物規程(IMDG コード)に詳細な要件が規定されており、定期的に IMO 危険物・固体貨物・コンテナ小委員会(DSC)においてその見直しが行われている。平成 21(2009)年 9 月の DSC14 では概要以下のとおり審議が行われた。

(1) 深冷液化ガスの甲板下積載禁止

平成 20(2008)年 9 月の DSC13 において合意され、第 35 回改正案に採り入れられることとなっていた深冷液化ガス(UN1913、UN1951、UN1963、UN1970、UN2087、UN2201 および UN2591)の甲板下積載禁止の規定が、安全の確保を最優先するとの考えから、時期を早め第 34 回改正の小修正に採り入れることが合意された。同改正は平成 22(2011)年 1 月 1 日に発効する予定である。

(2) ニッケル水素水和物電池の輸送

ニッケル水素水和物電池をクラス 9(有害性物質)の危険物として規制すべきとした提案が合意されたものの、使用済みの電池の取り扱い、一定量以下の輸送の適用除外、コンテナの表示の必要性などの詳細については、次回 DSC15 で更に検討を行うこととなった。

なお、同規制の適用除外規定については次のとおりとなっている。

- ① 機器と同梱または機器に組み込まれた電池は適用除外
- ② コンテナへの“STOW AWAY SOURCE OF HEAT”の表示は不要
- ③ コンテナに収納された電池の合計総質量が 100kg 以下の場合には適用除外

6・4・3 ケミカル/プロダクトタンカーの爆発防止対策

近年、20,000 重量トン(DWT)未満の小型タンカーの爆発事故が多発していることから、その防止対策について、IMO で検討が行われている。

平成 21(2009)年 2 月の第 52 回防火小委員会(FP52)では、20,000DWT 以上のタンカーに搭載が義務付けられているイナートガスシステム(IGS)※を、20,000DWT 未満のタンカーへ拡大適用することについて審議が行われるとともに、現存タンカーには適用しないことが確認された。また、新造タンカーの IGS 搭載義務付けの適用範囲の下限については引き続き審議することとされたが、その後、平成 22(2010)年 2 月の FP54 においても結論を出すまでに至らず、平成 23(2011)年 7 月開催予定の FP55 にて継続審議される予定である。

※ IGS(Inert Gas System): 燃焼に必要な酸素を含まないガスを供給することにより、貨物タンク内の酸素濃度を制御し、爆発を防止するシステム。一般に、油タンカーでは燃料をボイラーで燃焼させた排ガスが、ケミカルタンカーでは空気中から抽出した窒素が用いられる。